$650 (650 \sim 652)$ 小児保健研究

感染症・予防接種レター(第88号)

日本小児保健協会予防接種・感染症委員会では「感染症・予防接種」に関するレターを毎号の小児保 健研究に掲載し、わかりやすい情報を会員にお伝えいたしたいと存じます。ご参考になれば幸いです。

日本小児保健協会予防接種·感染症委員会

副委員長 多屋 馨子 委員長 岡田 賢司

久保田恵巳

青衣 城

菅原 美絵

津川 並木由美江

健一

三沢あき子

渡邉 久美

新型コロナウイルス感染症予防と RS ウイルス感染症予防の実際

I. はじめに

新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症は, 2019年12月に中華人民共和国湖北省武漢市において初 めて確認され、その後、新型コロナウイルスの感染は 世界に拡大した。日本国内では2020年1月に初めて患 者が確認された後、都心部を中心に感染が確認され、 全都道府県へ拡大した。第1波は人流の交差を減少さ せることを目的に緊急事態宣言が発令され、学校は休 校となり、就学前教育・保育も休園や登園自粛が続い た。その後「新しい生活様式」の中で学校教育・就学 前教育・保育が再開されている。

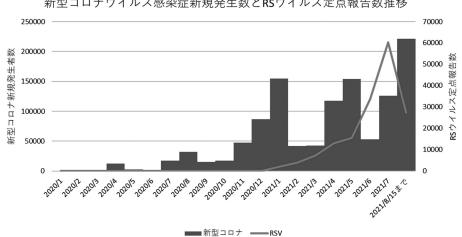
2020年にはみられなかった RS ウイルス感染症の流 行が,2021年には例年の流行時期より早く開始となり, 直近5年で最も定点報告数が多くなっている。そのた め、新型コロナウイルス感染症と RS ウイルス感染症 の鑑別と対応が必要な事態となっている(図)。

Ⅱ. 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症と RS ウイルス感染症の特徴

1. 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 感染症の特徴 小児における新型コロナウイルス感染症の多くは. 無症状・軽症で経過していることが多く、感染伝播は 成人患者からの家庭内、集団生活からの伝播となって いる。

2. RS ウイルス感染症の特徴

RS ウイルス感染症は、RS ウイルス (respiratory syncytial virus: RSV) を病原体とする,乳幼児に多 く認められる急性呼吸器感染症である。生後1歳まで に50%以上が、2歳までにほぼ100%の人がRSウイ ルスの初感染を受けるが、RSウイルスは感染しても 終生免疫とならないため、再感染も稀ではない。初感 染の場合、まず、発熱、鼻汁などの上気道症状が出現



新型コロナウイルス感染症新規発生数とRSウイルス定点報告数推移

図 発生件数推移

(新型コロナウイルス感染症新規検出数:厚生労働省新規陽性者数の推移:https://covid19.mhlw.go.jp/より一部改変) (国立感染症研究所:週別診断名別 Respiratory syncytial virus 分離:検出報告数 https://nesid4g.mhlw.go.jp/Byogentai/Pdf/data101j.pdfより一部改変) 第80巻 第5号, 2021 651

し、一部の患者で気管支炎や肺炎などの下気道炎に進展する。早産の新生児や生後6か月以内の乳児、月齢24か月以内で免疫不全、血流異常を伴う先天性心疾患や肺の基礎疾患がある場合や、ダウン症候群の児は重症化しやすい傾向がある。ただし、年長の児や成人における再感染は、重症となることは少ない。

Ⅲ. 感染経路と潜伏期間

1. 新型コロナウイルス

潜伏期:1~14日(5日間が最も多い)。

感染経路:患者の咳やくしゃみによる飛沫感染が主であり、エアロゾルによる伝播も指摘されている。ウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染もあり得る。3つの密(密閉、密集、密接)の状況では感染リスクが高いとされてきたが、最近では1つの密も避けるべきとされている。小児に対する感染経路としては、家庭内感染が最も多い。

2. RS ウイルス

潜伏期: $2 \sim 8$ 日であり、典型的には $4 \sim 6$ 日とされている。

感染経路:ウイルスの付着した手指や物品等を介した接触感染が主であり、患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染もあり得る。

Ⅳ. 感染対策の実際

1. 新型コロナウイルス感染症

小児に多くみられる家庭内発生の感染予防において は,家族内での飛沫感染,接触感染を介して伝播しや すく,以下の点が重要である。

- (1) 手指衛生の実施
- (2) 定期的な換気
- (3) 環境からの感染予防

よく触る部分の定期的な清掃:ドアノブ・手すりなど 共有部分の清掃をこまめに行う。

食事時の注意:取り箸の使用、コップでの回し飲みを しないなど、食器を介した感染を避け、食事中の大声 での会話を避ける。

洗面時の注意:洗面時に使用する物品類(含嗽用コップ,タオルなど)は使用毎に洗浄するなど,他者とできるだけ物品を共有しないように注意する。

排泄物取り扱い時の注意: おむつ交換時からの伝播予 防として、使用後のおむつはビニール袋に入れる。お むつ専用ゴミ箱は、家人が手に触れにくい所に設置する。おむつ交換前後での手洗いの徹底と、おむつ交換時は専用シートを使用するなど環境汚染に留意する。

2. RS ウイルス感染症

汚染された手による接触感染、飛沫感染を介して伝 播しやすい。

(1) 手指衛生の実施

特に乳幼児、重症呼吸器疾患を患っている人に接触 する前には手指衛生を実施する。

(2) 飛沫感染対策としてのマスク着用や咳エチケットの 実施

乳児をケアする大人は気道症状がある場合にはマスク着用が望ましい。特に抱っこ時や母乳を哺乳させる際、母親に軽微な鼻汁などの気道症状がある場合、RS ウイルス感染症の可能性があるため、周囲の流行状況を見ながらではあるがマスク着用を行い、乳児のケアにあたる。

V. おわりに

新興感染症の流行により、国内では生活習慣を含めた生活様式を変える必要が生じ、子どもたちの学校生活を含め日々の生活状況が変化してきている。感染伝播を防ぐには感染経路を遮断すること、すなわち手指衛生の徹底やマスクの装着が効果的ではある。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の伝播しやすい状況として、密となる環境をつくらないといった、新たな感染対策も提唱されていることから、感染対策に必要な新しい情報を常に得ながら、日々感染予防に努めていく必要がある。感染を予防しながら、子どもたちに関連健康被害が発生しないように、成長を見守り、支え、このパンデミックを乗り越えていくことを願う。

文 献

- Red Book 2021–2024 (32nd ed.) -Report of the Committee on Infectious Diseases.
- 2) 東京都福祉保健局. "新型コロナウイルス感染症 自宅療養者向けハンドブック" https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/corona_portal/shien/zitakuryouyouhandbook.files/zitakuryouyouhandbook0128.pdf (参照2021-08-10)
- 3) 文部科学省. "学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル~「学校の新しい生

- 活様式」~(2021.4.28 Ver.6)"https://www.mext.go.jp/content/20210428-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf(参照2021-08-10)
- 4) 厚生労働省. "保育所等における新型コロナウイルス への対応にかかる Q & A (第十報)" https://www. mhlw.go.jp/content/11920000/000774111.pdf (参照2021-04-23)
- 5) 厚生労働省. "新型コロナウイルス感染症について" https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/ bunya/0000164708_00001.html (参照2021-08-10)
- 6) 国立感染症研究所. "病原微生物検出状況" https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/2293-iasrgv4.html (参照2021-08-10)
- 7) 文部科学省初等中等教育局. "特別支援学校等における新型コロナウイルス感染症対策に関する考え方と取組について (通知)" https://www.mext.go.jp/content/20200619-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf (参照2021-08-10)

(文責:菅原 美絵)